障害者（児）の心理①

～同行援護従事者養成研修～

かいごの学校
カイゴミライズアカデミー

中途障がい者の心理

中途視覚障がい者の原因としては、圧倒的に「緑内障」によるものが多い。

【緑内障とは】

原因
緑内障は眼圧の上昇等によって視神経が障害される病気です。 しかし、どうして緑内障になってしまうのか？また緑内障がどのような過程で発症するのか？について詳しいことはまだわかっていません。
緑内障の自覚症状
緑内障はほとんど自覚症状がないまま進行していきます。緑内障のタイプによっては、頭痛や吐き気が現れることもありますが、多くの場合は自分では気づかない場合が多い。40歳を過ぎたら定期的に眼科の検診を受けることが大事です。
緑内障になる危険因子
①両親や兄弟に緑内障の方がいる② 眼圧が高い③高齢の方④強い近視

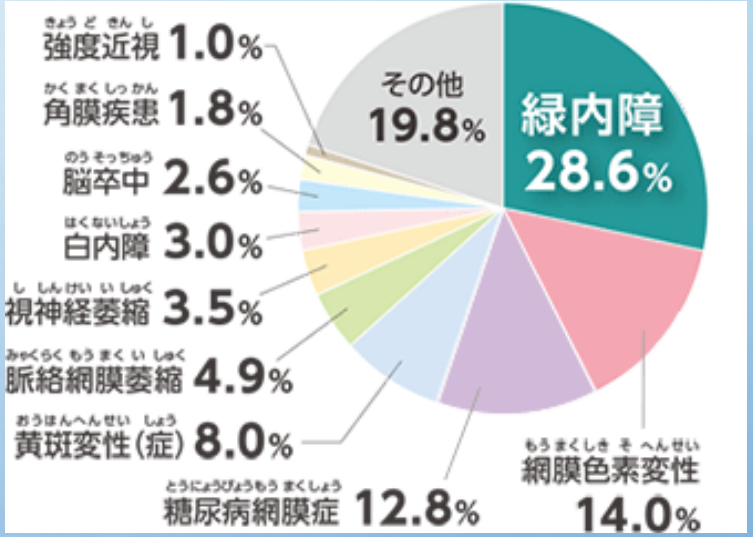
中途障がい者の心理②

【40歳以上の日本人20人に1人が緑内障に！？】

日本人における視覚障害の原因疾患の第1位は緑内障です。治療せずに放っておくと失明につながるおそれのある病気です。また、40歳以上の日本人20人に1人が緑内障と推定されています。しかし、9割の方がまだ自覚がなく過ごされていると考えられています。

自覚しにくい病気だからこそ怖い病気

緑内障はじわじわと見えない部分が広がっていく病気です。片方の目に見えない部分があっても、両目で見ていると、見えなくなってきている目の視力をカバーしてしまうため、見えない部分がかなり広がるまで気づかないことが多い病気なのです。



緑内障を早期に発見し、治療をきちんと受けて眼圧をしっかり管理できれば、多くの場合、失明に至ることはありません。早期発見と治療を継続することが大切です。

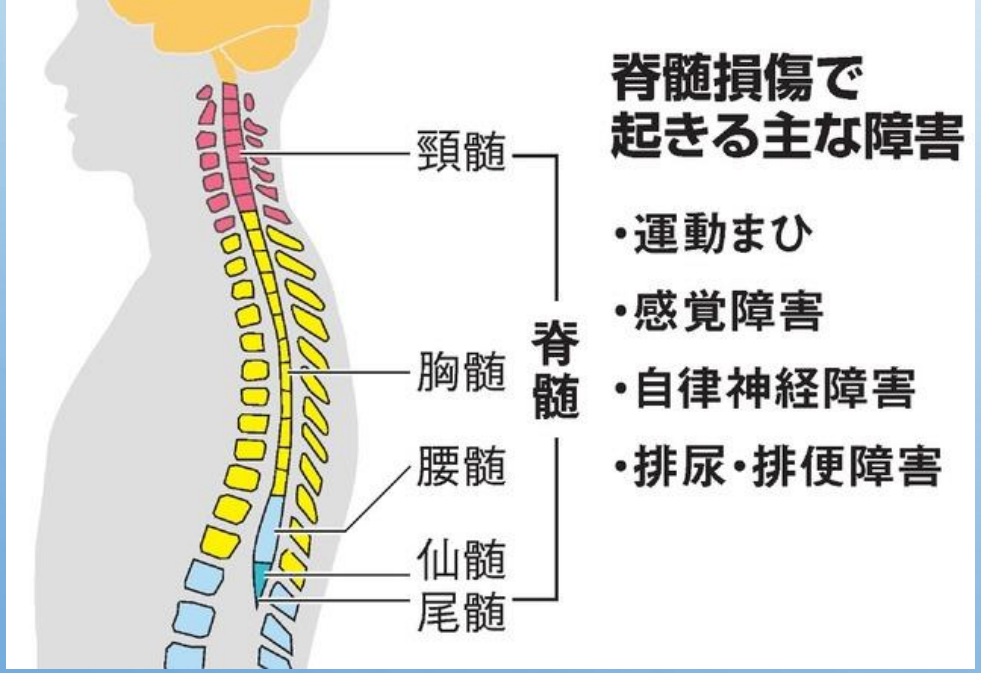
中途障がい者の心理③

【中途障がい者に多い症状】

脊椎損傷・脳外傷・脳血管性障がい・糖尿病など

【脊椎損傷の原因】

脊椎損傷の場合、強い衝撃が脊椎に加わり、脱臼・骨折することで脊髄に損傷が起こる。
衝突、転倒、高い場所からの転落、落下物の下敷きになるなど外傷により起こることが多く
交通事故や転倒、スポーツでのケガによるものがよく見られる。



参照：URLhttps://www.asahi.com/articles/ASJ552GX4J55UBQU001.html:
脊椎損傷（4・情報編）高齢者は身近なけがでも：朝日新聞デジタル

かいごの学校
カイゴミライズアカデミー

中途障がい者の心理④

健康な身体から障がい者になってしまい、立ち直っていく過程のことを
「**障害受容**」と言います。

【障害受容のサイクル】

【ショック期】けがや病気で今までの人生設計がくずれてしまう。
また、健康だった体が変わってしまったことを受け入れられない時期。

【回復への期待期】「まさか。このままじゃないだろう」と現実逃避し回復
すると期待を持っている時期。

【悲嘆期】現実を受け止め悲しみ立ち上がれられない時期。

【適応への努力期】現実を受け止め立ち上がり、回復に向けて努力を行う時期。

【受容】自分の障害を受け止め、前向きに人生のスタート」を歩みだす時期。

※これらのサイクルは、「進んだり」「戻ったり」を繰り返します。

中途障がい者の心理

【中途障がい者の心のケア】
中途障がい者の心の様相は、今までの健康や人生がすべて否定されたかのような挫折感が特徴的です。「障害をもったので人生が終わってしまった」のではなく障害の影響を小さなものとし新たな目線で「どのようにすればこの障害を乗り越えていけるか？」ということを工夫して行くことが必要である。

中途障がい者のケアのポイント

- 本人の辛い気持ちにしっかりと耳を傾ける
- むやみな励ましや「頑張れ」に気を付ける
- ピアケアの参加を行う

先天性障がい者の心理

【先天性疾患とは？】

先天性疾患とは、赤ちゃんが生まれた時から持っている病気のことを指します。
さまざまな種類がありますが、染色体や遺伝子が変化することや、母親の胎内にいた時の環境などが原因となるケースが多いです。

【先天性障がいと疑われる症状】

先天的に複数の器官系統に先天異常がみられることに加えて、下記の徴候のいずれかがみられる時に先天異常症候群を疑う。

① 乳幼児期、体重増加不良や発育不良がみられる。

② 乳幼児期から発達遅滞や痙攣がみられる。

③ レントゲン上、骨格異常が見られる。

④ 疾患に特異的な顔貌上の特徴がみられる。

⑤ 家族が罹患するなど、先天異常症候群を疑う家族歴がある。

先天性障がい者の心理②

【先天性障害の多い原因】

染色体が原因によるもの

染色体の本数に変化が生じるケースでダウン症候群、18トリソミー、13トリソミーなどがあります。先天性疾患全体の約25%を占めると言われています。
受精した時に起きるもので、出生前診断で胎児が疾患を持っていることが明らかになるケースもあります。

遺伝子が原因によるもの

先天性疾患全体の約20%を占めると言われます。受精の時に起きるもので、両親から変化を持つ遺伝子を引き継ぐ場合もあれば、赤ちゃんにだけ遺伝子の変化が起きるケースもあります。

様々な因子の影響が原因によるもの

先天性疾患の約40%を占め、多因子遺伝とも呼ばれます。
いくつかの遺伝子に変化があるケースや、環境因子も絡み合うケースがあります。

環境因子が原因によるもの

タバコやアルコール、薬剤、放射線被ばくの影響によるケースです。
先天性疾患の約5%を占めると言われています。

先天性障がい者の心理③

子どもの時から障害があると、親から身の回りの介助を受け続けることになり、自己判断や選択の機会が少なく「失敗から学ぶ」というような経験不足が起こりがちです。

☞ **自立には4つの側面があります。**

【身体的自立】
身体的なサポートを必要としない状態です。これは、先天的な要素などで自分では解決できない場合もあります。

【精神的自立】
他の人に過度に依存することなく、自分で考えて選択や行動ができるのが精神的に自立した状態。

【経済的自立】
親や国などに頼ることなく、生活するためのお金を稼げる状態

【社会的自立】
地域社会の一員として充実した生活を送ることができることを指し、社会に対して自分に何か「役割」があるということ。。

先天性障がい者の心理④

【障害者を取り巻くバリア】
障害者が生活するうえで色々な障害が発生します。大きく分けて以下の3つに分けられます。

① 物理的バリア　※例：段差など

② 社会的バリア　※例：障害を理由に就職が不合格になった

③ 心理的バリア　※例：ジロジロ見られる

グループワークしみんなで答えを出してみよう！！その後、発表します！
「司会」「発表」の役割を決めましょう！！